

令和4年度

食産業の戦略的海外展開支援事業

(EU 共通農業政策、EU 容器包装前面表示制度、
EU 森林デューデリジェンスの動向分析委託事業)

最終報告書

2023年3月

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

目次

I	総括	3
I-1.	事業目的	3
I-2.	事業実施内容.....	4
II	EU 共通農業政策（CAP）に関する調査.....	9
II-1.	2013 年 CAP と 2021 年 CAP の相違点	9
II-2.	各加盟国の実施検討状況（フランス）	40
II-3.	各加盟国の実施検討状況（ドイツ）	54
II-4.	各加盟国の実施検討状況（ポーランド）	71
III	Farm to Fork 戦略に関する調査.....	84
III-1.	F2F 戦略の動向	84
IV	EU 容器包装前面表示制度（FoP）に関する調査	95
IV-1.	FoP の概況	95
IV-2.	FoP 義務化の検討状況	104
IV-3.	FoP 義務化による事業者が必要となる手続き（法案が提案された場合）	112
V	森林デューデリジェンス関連規則に関する調査.....	113
V-1.	森林破壊にかかる動向.....	113
V-2.	森林減少フリー製品に関する規則案の概況.....	115

※注意事項

本事業は、農林水産省輸出・国際局の委託により、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が実施したものであり、本報告書の内容は農林水産省の見解を示すものではありません。

※本稿では、特に断らない限り有識者からの聞き取りによる記述である。

I 総括

I-1. 事業目的

EU は食料システムへ持続可能性を取り込み、様々な先進的な農業政策を展開しつつある一方、主に家族経営による農業が営まれている等、我が国の農林水産政策の立案において参考にすべき点が多い。

本事業の目的は、「みどりの食料システム戦略」に基づく持続可能な食料システム構築を目指す我が国の農林水産政策の立案に資する情報を収集し把握することである。また、EU で検討が進む輸入規制関連の法律についても情報を収集し、関係者に周知することにより、我が国の農林水産物の輸出戦略にも資することが期待される。

そこで、本事業では、EU 加盟国が実施する農業政策の大枠を定めている「共通農業政策（Common Agricultural Policy、以下「CAP」）の他、近年、新たに導入が予定されている2つのEU規制である、EU 容器包装前面表示制度（FOP）及び森林デューデリジェンス関連規則に着目した。

まず、CAP については、我が国の農林水産政策の立案に資する観点から、常に最新の情報を収集し、把握しておくことが必要である。特に、EU 農業政策における環境に対する取組内容は、我が国の「みどりの食料システム戦略」の実施に当たり、参考となる可能性が高いと考えられる。

2023年1月から実施されている2021年CAP（2023～2027年）においては、各加盟国の裁量が拡大したことを受け、新たに各加盟国が策定する義務のあるCAP戦略計画の内容を正しく把握しない限り、CAPの詳細は不明であることから、当計画を分析することが必要不可欠である。また、各国が自国の農業事情やニーズに応じて作成したCAP戦略計画において、「EU Farm to Fork Strategy（以下「F2F戦略」）を具現化することとされている。「F2F戦略」は、欧州グリーン・ディールの一環として発表された戦略であり、農業による環境への貢献を前面に打ち出した野心的な内容となっている。したがって、CAP、各国のCAP戦略計画、及びF2F戦略について情報を収集することは、今後、持続可能性への対応が益々求められるであろう我が国の農林水産政策の立案に資するものと思料する。

2つ目の「EU 容器包装前面表示制度（FoP）」に関しては、EU 域内で統一化・義務化を含む法制化が議論されており、制度が成立すると、我が国からEUに輸出される食品にも当該表示が適用されるおそれがあるため、EUや加盟国での検討状況を調査するとともに、FoPの内容を詳細に把握する必要がある。

3つ目の「森林デューデリジェンス規則」に関しては、森林減少フリー製品に関する規則案により、対象となる製品に対して輸入規制が行われる見込みである。我が国からEUに輸出される製品に対しても当該規則が適用される見込みであるため、法案の内容を詳細に把握する必要がある。

I-2. 事業実施内容

(1) 調査概要

本事業の目的に資する調査を実施するため、政府機関、業界団体のウェブサイト等の公開情報の調査、文献調査、及び EU の政府関係機関、農業団体、業界団体等に対するオンラインヒアリングを実施した。

本報告書では、CAP、各国の CAP 戦略計画、及び F2F 戦略について情報を収集し、EU の農業政策における環境に対する取組内容の動向を調査・分析した。また、EU で検討が進む「EU 容器包装前面表示制度（FoP）」及び「森林デューデリジェンス関連規則」の検討状況を把握することで、我が国から EU に輸出される製品への影響の把握に努めた。

第二章では、CAP の概要について整理した後、主要加盟国（フランス、ドイツ、ポーランド）が作成した CAP 戦略計画の内容及びそれに対する欧州委員会による評価を調査した。

また、第三章では F2F 戦略について農薬規制の状況把握をベースに、当該加盟国が設定した F2F 戦略の各目標値とそれを達成するための具体的施策について令和 3 年度の委託調査を更新する形で整理した。

第四章では、F2F 戦略の行動計画の一つに含まれる「容器包装前面表示制度（FoP）」について、その統一化及び義務化にかかる議論を中心に取りまとめた。現地業界団体にもヒアリングを行い情報の補完にも努めた。ただし、法案の提案については 2023 年第 1 四半期へ持ち越しとなったため、本報告書での分析には含まれない。

第五章では、森林減少フリー製品に関する規則案について、具体的な手続きを含む制度の詳細、EU の各機関による審議状況を整理した。また、EU 機関及び現地業界団体にもヒアリングを行い情報の補完を行った。

(2) 検討委員会の開催

農林水産省、関係分野の専門家である検討委員からなる検討委員会を設置し、事業実施期間中に「EU 食産業の戦略的海外展開支援事業」に関する検討委員会を3回開催し、学術的・専門的な意見を踏まえながら、調査結果のとりまとめ及び分析を行った。

表 I-2-1 検討委員会委員（五十音順、敬称略）

石井 圭一	東北大学大学院農学研究科	教授
和泉 真理	一般社団法人日本協同組合連携機構基礎研究部	客員研究員
鮫島 弘光	公益財団法人地球環境戦略研究機関	リサーチマネージャー主任研究員
平澤 明彦	株式会社農林中金総合研究所基礎研究部	理事研究員

表 I-2-2 検討委員会概要

委員会	開催日・場所	主な議題
第1回 検討委員会	令和4年7月7日（火） 13時00分～15時00分 農林水産省4階会議室イコルームA	・ 調査実施方針 ・ 調査内容に関する方向性のご報告 ・ 次回委員会での検討事項
第2回 検討委員会	令和4年10月5日（火） 15時00分～17時00分 オンライン	・ 調査内容に関するご報告 ・ 現地調査に関する方向性のご報告 ・ オンラインセミナーに関する方向性のご報告 ・ 次回委員会での検討事項
第3回 検討委員会	令和5年2月16日（木） 15時00分～17時00分 農林水産省4階会議室イコルームA 及びオンライン会議併用	・ 報告書に関するご報告 ・ オンラインセミナーに関するご相談 ・ 現地調査に関するご報告

(3) 有識者ヒアリングの実施

検討委員会に加え、各専門分野に関する知見を有する有識者からアドバイスをいただいた。

表 I-2-3 検討委員会有識者（五十音順、敬称略）

石見 佳子	東京農業大学 総合研究所	教授
弦間 正彦	早稲田大学 社会科学総合学術院社会科学部	教授

(4) オンラインセミナーの実施

森林デューデリジェンス規則及び EU 容器包装前面表示制度に関しては、関係者への周知を目的として、オンラインセミナーを実施した。その際に、検討委員及び国内有識者にご登壇いただき、パネルディスカッションを行った。

表 I-2-4 オンラインセミナー概要

セミナー名	「欧州食・農政策の動向～EU 容器包装前面表示制度、EU 森林デューデリジェンス (EUDR) の動向～」セミナー
日時	2023 年 2 月 24 日 (金) 10 時 00 分～12 時 30 分
場所	オンライン開催
主催者	農林水産省
事務局	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
参加者	53 名 (主催者、事務局、登壇者を除く)

表 I-2-5 オンラインセミナースケジュール

予定 時間	次第	司会	発言者
10:00	開会のご挨拶	事務局	主催者
10:05	パネリストのご紹介	事務局	事務局
10:15	報告 1「欧州におけるサステナビリティ動向」	事務局	事務局
10:20	報告 2「EU 容器包装前面表示制度の動向」		事務局
10:50	報告 3「森林デューデリジェンス規則 (EUDR) の動向」		事務局
11:20	パネルディスカッション	モデレーター	パネリスト
12:25	閉会のご挨拶	事務局	主催者

セミナー事務局であるみずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が実施した。ご報告テーマは以下のとおり。

- 報告テーマ①「欧州におけるサステナビリティ動向」
- 報告テーマ②「EU 容器包装前面表示制度の動向」
- 講演テーマ③「森林デューデリジェンス規則 (EUDR) の動向」

登壇者により、以下のディスカッションが行われた。

- ディスカッションテーマ①「EU 容器包装前面表示制度の動向」
- ディスカッションテーマ②「森林デューデリジェンス規則（EUDR）の動向」

表 I-2-6 オンラインセミナー・モデレーター ※敬称略

平澤 明彦	株式会社農林中金総合研究所基礎研究部	理事研究員
-------	--------------------	-------

表 I-2-7 オンラインセミナー・パネリスト ※五十音順、敬称略

石井 圭一	東北大学大学院農学研究科	教授
石見 佳子	東京農業大学 総合研究所	教授
和泉 真理	一般社団法人日本協同組合連携機構基礎研究部	客員研究員
鮫島 弘光	公益財団法人地球環境戦略研究機関	リサーチマネージャー主任 研究員

(5) 現地調査の実施

以下の日程で、現地調査ヒアリングを実施した。

表 I-2-8 現地調査実施日程

国名	現地調査実施日程
ドイツ	2022 年 12 月 5 日～12 月 7 日
ベルギー	2022 年 12 月 7 日～12 月 13 日
フランス	2022 年 12 月 13 日～12 月 15 日
ポーランド	2022 年 12 月 15 日～12 月 16 日

